

第129期 中間報告書

平成18年4月1日から平成18年9月30日まで

健康って、おいしい。

MEIJI
明治乳業



自然の無限のちからを



明治乳業のやわらかな発想で



未来のチカラへ変えます

自然のちからを、未来のチカラへ。

株主の皆様へ

株主の皆様には益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。

平素は格別のご支援を賜り衷心より御礼申し上げます。

当上半期のわが国経済は、企業収益の改善や設備投資の増加などにより景気回復が見られたものの、個人消費につきましては税制改正や社会保険料の引き上げによる将来不安などを背景として、本格的な回復には至りませんでした。

乳業界におきましては、業界全体で飲用牛乳や乳製品の消費拡大に向けた取り組みを行いましたが、天候不順の影響もあり、飲用牛乳は低調に推移しました。

このような状況下、明治乳業グループでは、ヨーグルト・プロバイオティクス事業などコア事業の選択強化と経営資源のさらなる集中、マーケティング力の強化、「MEIJI」ブランドのさらなる向上、技術開発力・商品力の強

化、グループ経営効率の追求と経営の仕組み革新などに注力してまいりました。

その結果、売上高は、前年同期比1.3%減の3,662億9千9百万円となりました。利益面では、営業利益は前年同期比24.4%増の159億9千6百万円、経常利益は前年同期比19.4%増の160億7百万円、中間純利益は前年同期比19.7%増の102億1千8百万円となりました。

なお、本年7月および8月に、一般公募増資および第三者割当増資により3千3百万株の新株発行を行いました。

当上半期の事業別の概況は次の通りです。

食品事業につきましては、売上高は、当社におきましてヨーグルトが好調に推移したものの、飲用牛乳の売上が前年同期実績を下回ったことに加え、子会社においても販売子会社などの売上が前年同期実績を下回ったことなどに

より、前年同期比1.9%減の3,147億1千万円となりました。営業利益は、海外原料や包装材料のコストアップがあったものの、ヨーグルトなどの売上増に伴うプロダクトミックス改善効果に加え、経費全般の見直し効果などにより、前年同期比26.7%増の143億6千8百万円となりました。

サービス・その他事業につきましては、売上高は、物流事業が前年同期実績を上回ったことなどにより前年同期比1.4%増の741億9千5百万円となりました。営業利益は、物流事業や医薬事業が前年同期実績を上回ったことなどにより、前年同期比4.0%増の15億8千4百万円となりました。

また、当上半期における当社の売上高は、前年同期比0.9%減の2,527億2百万円となりました。営業利益は、海外原料や包装材料のコストアップがあったものの、ヨーグルトなどの売上増に伴うプロダクトミックス改善効果に加

業績の比較（連結）

区 分	第129期上半期 (平成18年4月～9月)	第128期上半期 (平成17年4月～9月)	第128期 (平成17年4月～平成18年3月)
売上高 (百万円)	366,299	370,992	710,908
経常利益 (百万円)	16,007	13,409	20,179
中間（当期）純利益 (百万円)	10,218	8,538	10,055
1株当たり中間（当期）純利益（円）	32.77	28.85	33.86
総資産 (百万円)	395,792	375,512	361,134
純資産 (百万円)(注)	144,427	109,645	112,695
1株当たり純資産（円）(注)	432.21	370.57	380.85

(注) 第128期上半期および第128期については、株主資本/1株当たり株主資本を表示しております。

え、経費全般の見直し効果などにより、前年同期比32.0%増の125億4千1百万円、経常利益は前年同期比26.4%増の127億1百万円となりました。

当社の部門別の売上高の概況は次の通りです。

市乳部門は、「明治ブルガリアヨーグルトLB81」、「明治プロビオヨーグルトLG21」といったヨーグルトが好調に推移したものの、飲用牛乳が前年同期実績を下回ったことなどにより、前年同期比0.1%減の1,517億6千万円となりました。

乳製品部門は、チーズ、バターが堅調に推移したことにより、前年同期比1.2%増の325億7千8百万円となりました。

アイスクリーム部門は、主力商品の「明治エッセルスーパーカップ」が好調に推移したものの、天候不順の影響などにより、前年同期比0.7%減の244億3千8百万円となりました。

飲料部門は、市場競争の激化により、前年同期比7.3%減の168億8千1百万円となりました。

その他部門は、栄養食品が堅調に推移したものの、冷凍食品の売上減などにより、前年同期比4.0%減の270億4千2百万円となりました。

なお、中間配当金につきましては、平成18年11月14日開催の取締役会において、前年同様、1株につき3円とすることに決定いたしました。

当下半年につきましても、原油や素材価格の上昇の影響などから景気の先行きには不透明感があり、また、個人消費の拡大も期待薄であることから、明治乳業グループを取り巻く事業環境は引き続き厳しいものと予想されます。このような厳しい環境下ではありますが、独自の技術力・商品力を活かして世界の食品トップ企業と互角に競争できる食品企業グループを目指すべく、持続的な企業価値の向上に向けた諸施

策をグループを挙げて推進していく所存であります。

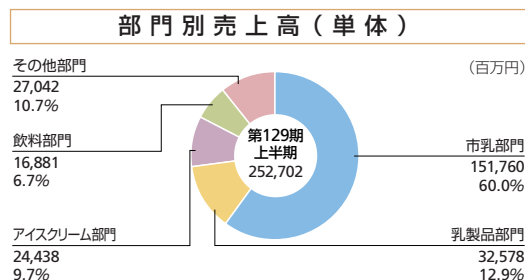
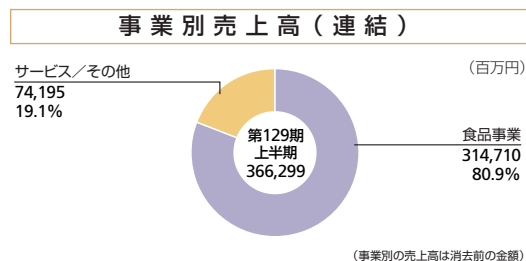
株主の皆様におかれましては、なお一層のご支援とご理解を賜りますようお願い申し上げます。

平成18年12月



取締役社長

浅野 茂太郎



連結財務諸表

中間連結貸借対照表 (要旨)

(単位：百万円)

科 目	当中間期	前中間期	前 期
	平成18年9月30日現在	平成17年9月30日現在	平成18年3月31日現在
(資産の部)			
流動資産	172,943	151,441	136,458
固定資産	222,848	224,071	224,675
資産合計	395,792	375,512	361,134
(負債の部)			
流動負債	199,149	175,476	167,346
固定負債	52,214	88,015	78,817
負債合計	251,364	263,492	246,164
少数株主持分	—	2,375	2,273
(資本の部)			
資本金	—	23,090	23,090
資本剰余金	—	21,433	21,434
利益剰余金	—	57,876	58,505
その他有価証券評価差額金	—	7,594	10,059
自己株式	—	△ 349	△ 394
資本合計	—	109,645	112,695
負債、少数株主持分及び資本合計	—	375,512	361,134
(純資産の部)			
株主資本	133,096	—	—
資本金	33,646	—	—
資本剰余金	31,993	—	—
利益剰余金	67,903	—	—
自己株式	△ 446	—	—
評価・換算差額等	8,990	—	—
その他有価証券評価差額金	8,990	—	—
少数株主持分	2,340	—	—
純資産合計	144,427	—	—
負債及び純資産合計	395,792	—	—

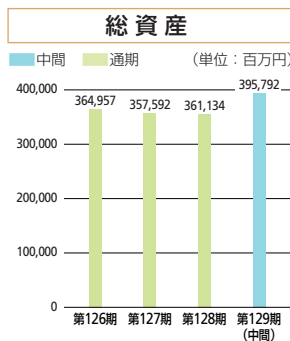
(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

「連結貸借対照表」および「単体貸借対照表」

平成18年5月1日施行の会社法により、「資本の部」が廃止され、「純資産の部」が新設されました。

これは貸借対照表上、資産性を持つものを「資産の部」、負債性を持つものを「負債の部」に記載し、それらに該当しないものを資産と負債の差額として「純資産の部」に記載するものです。

これにより、会社の支払能力などの財政状態をより適切に表示することが可能となります。

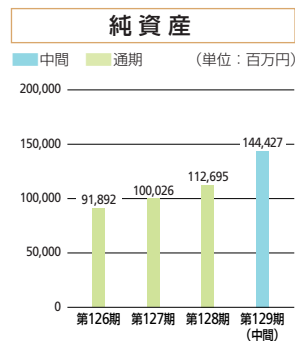


中間連結損益計算書 (要旨)

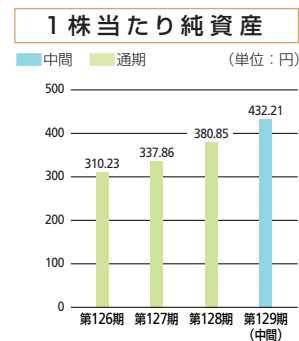
(単位：百万円)

科 目	当中間期	前中間期	前 期
	平成18年4月1日から平成18年9月30日まで	平成17年4月1日から平成17年9月30日まで	平成17年4月1日から平成18年3月31日まで
売上高	366,299	370,992	710,908
売上原価	260,056	266,911	515,712
売上総利益	106,242	104,080	195,195
販売費及び一般管理費	90,246	91,224	175,205
営業利益	15,996	12,856	19,989
営業外収益	1,545	1,734	2,746
営業外費用	1,534	1,181	2,556
経常利益	16,007	13,409	20,179
特別利益	3,525	3,453	5,598
特別損失	2,659	1,403	6,644
税金等調整前中間(当期)純利益	16,873	15,459	19,133
法人税、住民税及び事業税	6,594	6,842	6,081
法人税等調整額	—	—	2,901
少数株主利益	61	78	95
中間(当期)純利益	10,218	8,538	10,055

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。



(注) 第128期までは、株主資本を表示しております。



(注) 第128期までは、1株当たり株主資本を表示しております。

中間連結株主資本等変動計算書（要旨）当中間期（平成18年4月1日から平成18年9月30日まで）

（単位：百万円）

	株主資本					評価・換算差額等 その他有価証券 評価差額金	少数株主 持分	純資産 合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本 合計			
平成18年3月31日残高	23,090	21,434	58,505	△ 394	102,636	10,059	2,273	114,969
中間連結会計期間中の変動額								
新株の発行	10,556	10,556			21,112			21,112
役員賞与			△ 35		△ 35			△ 35
剰余金の配当			△ 1,183		△ 1,183			△ 1,183
中間純利益			10,218		10,218			10,218
持分法適用会社の増加に伴う増加			424		424			424
子会社株式の売却に伴う減少			△ 26		△ 26			△ 26
自己株式の取得				△ 56	△ 56			△ 56
自己株式の処分		1		3	5			5
株主資本以外の項目の中間連結会計期間中の変動額（純額）						△ 1,068	67	△ 1,001
中間連結会計期間中の変動額合計	10,556	10,558	9,398	△ 52	30,459	△ 1,068	67	29,458
平成18年9月30日残高	33,646	31,993	67,903	△ 446	133,096	8,990	2,340	144,427

（注）記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

中間連結キャッシュ・フロー計算書（要旨）

（単位：百万円）

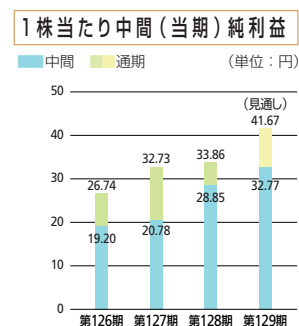
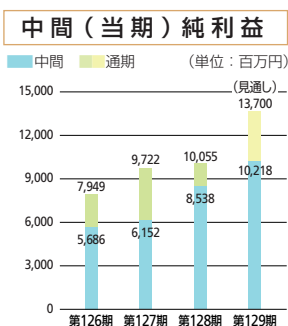
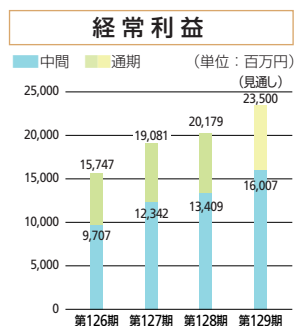
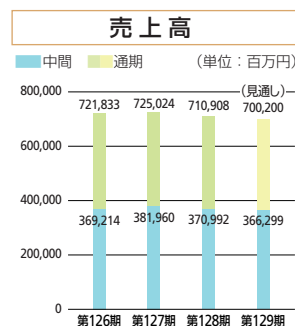
科 目	当中間期 平成18年4月1日から 平成18年9月30日まで	前中間期 平成17年4月1日から 平成17年9月30日まで	前 期 平成17年4月1日から 平成18年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	23,634	21,885	31,256
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 5,456	△ 10,221	△ 17,919
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,539	△ 10,173	△ 13,490
現金及び現金同等物の増加（△減少）額	15,638	1,489	△ 153
現金及び現金同等物の期首残高	3,621	3,774	3,774
現金及び現金同等物の中間期末（期末）残高	19,259	5,264	3,621

（注）記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

「連結株主資本等変動計算書」

平成18年5月1日施行の会社法により、「連結株主資本等変動計算書」が新設されました。

これは貸借対照表の純資産の部の中で、主として株主の皆様へ帰属する株主資本について、その1会計期間における変動事由と変動額を、連結ベースでご報告するために作成する計算書類です。



単体財務諸表

中間貸借対照表（要旨）

（単位：百万円）

科 目	当中間期	前中間期	前 期
	平成18年9月30日現在	平成17年9月30日現在	平成18年3月31日現在
(資産の部)			
流動資産	134,152	111,339	103,711
固定資産	177,438	175,960	178,842
資産合計	311,591	287,299	282,554
(負債の部)			
流動負債	147,998	122,429	122,514
固定負債	37,207	67,918	60,192
負債合計	185,206	190,347	182,706
(資本の部)			
資本	—	23,090	23,090
資本剰余金	—	21,433	21,434
利益剰余金	—	45,755	46,398
その他有価証券評価差額金	—	7,021	9,318
自己株式	—	△ 349	△ 394
資本合計	—	96,951	99,847
負債及び資本合計	—	287,299	282,554
(純資産の部)			
株主資本	118,017	—	—
資本剰余金	33,646	—	—
利益剰余金	31,993	—	—
自己株式	52,824	—	—
評価・換算差額等	△ 446	—	—
その他有価証券評価差額金	8,367	—	—
純資産合計	126,384	—	—
負債及び純資産合計	311,591	—	—

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

中間損益計算書（要旨）

（単位：百万円）

科 目	当中間期	前中間期	前 期
	平成18年4月1日から 平成18年9月30日まで	平成17年4月1日から 平成17年9月30日まで	平成17年4月1日から 平成18年3月31日まで
売上高	252,702	255,001	484,285
売上原価	175,722	179,952	344,458
売上総利益	76,979	75,049	139,827
販売費及び一般管理費	64,437	65,551	124,588
営業利益	12,541	9,497	15,239
営業外収益	1,576	1,617	2,862
営業外費用	1,416	1,065	2,399
経常利益	12,701	10,050	15,702
特別利益	3,409	3,224	5,279
特別損失	2,048	1,812	7,380
税引前中間（当期）純利益	14,062	11,462	13,600
法人税、住民税及び事業税	6,423	4,896	4,004
法人税等調整額	—	—	1,500
中間（当期）純利益	7,639	6,566	8,096

(注) 1. 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

2. 期間中における剰余金の変動は、平成18年5月1日施行の会社法により新設された「株主資本等変動計算書」で説明されるため、損益計算書末尾の「未処分利益」の計算区分は廃止されました。

中間株主資本等変動計算書（要旨） 当中間期（平成18年4月1日から平成18年9月30日まで）

（単位：百万円）

	株 主 資 本					評価・換算差額等 その他有価証券 評価差額金	純資産 合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本 合計		
平成18年3月31日残高	23,090	21,434	46,398	△ 394	90,529	9,318	99,847
中間会計期間中の変動額							
新株の発行	10,556	10,556			21,112		21,112
役員賞与			△ 30		△ 30		△ 30
剰余金の配当			△ 1,183		△ 1,183		△ 1,183
中間純利益			7,639		7,639		7,639
自己株式の取得				△ 56	△ 56		△ 56
自己株式の処分		1		3	5		5
株主資本以外の項目の中間会計期間中の変動額（純額）						△ 950	△ 950
中間会計期間中の変動額合計	10,556	10,558	6,426	△ 52	27,487	△ 950	26,536
平成18年9月30日残高	33,646	31,993	52,824	△ 446	118,017	8,367	126,384

(注) 1. 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

2. 平成18年5月1日施行の会社法により、「利益処分計算書」が廃止され、「(単体)株主資本等変動計算書」が新設されました。

これは貸借対照表の純資産の部の中で、主として株主の皆様には所属する株主資本について、その1会計期間における変動事由と変動額を、単体ベースでご報告するために作成する計算書類です。

レポート

トレーサビリティを実現する生産・物流システム

明治乳業グループでは、他社に先駆け、ITなどの最先端技術を駆使し、「製造実行システム (MES)」、「冷蔵庫システム」、「配車支援システム」、「運行管理システム」などのシステムを有機的に結合して、生産から出荷・配送に関わる様々なデータを一元管理することで、万が一不良品が発生した場合でも、製造ライン、製造時間、出荷先を特定し、製品回収や原因分析を迅速に行いうる「トレーサビリティ (生産・配送履歴の追跡) システム」のさらなる充実を図っております。

「製造実行システム (MES)」は、例えば充填ラインや、原料である生乳の貯乳タンクなど製造ラインに関わる様々なノウハウや工程情報をデータベース化し、これらを統合的に管理することで人為的なミスを未然に防ぐことができます。

製造実行システム (MES)

製造現場の様々な情報をオンラインで管理することにより、生産効率改善を支援する総合システム

コンピューターからの作業指示に従って現場担当者が各工程の作業を行うことにより、作業漏れや作業手順の間違いなどの人為的なミスを未然に防止できる

配車支援システム

与えられた条件の下、工場からの製品を取引先に効率的に配送するための配車と配送ルートを短時間に計画し、コスト、車両台数、稼働時間などを最適化する仕組み

冷蔵庫システム

MESにデータ的に連動し、生産ラインからの「入庫時」から個々の製品の「製品名」「賞味期限」「入庫ロット」「保管場所」などを管理し、また「出庫時」には「ピッキング日時」「担当者」などを継続して管理することで、製品のトラッキングを可能にする仕組み

運行管理システム

通信衛星とトラックに搭載した端末機器をつなぎ、トラックの運行状況や作業状況をリアルタイムに把握、指示する仕組み

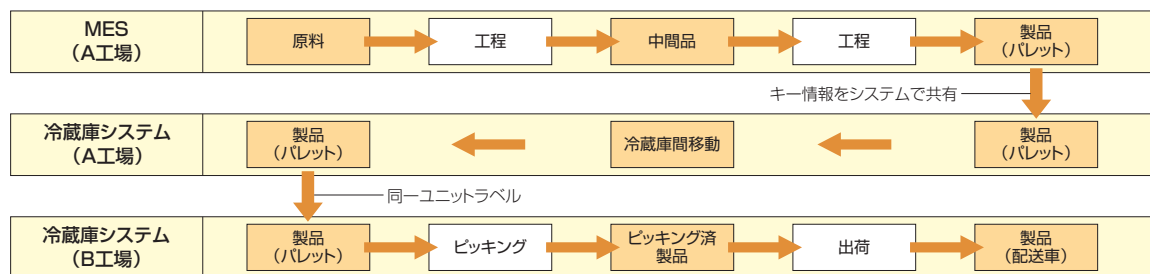
このMESにより、工場内の全ての生産ラインに対する適切な生産指示をシステム上で行うとともに、稼働状況をリアルタイムに把握しています。

また、在庫・出荷に関する情報は、「冷蔵庫システム」によって管理しています。専用サーバーとデータ読み取り機を用いて出荷指示から出荷時間、出荷先などのデータを記録することで、商品の出荷履歴が即座にトラッキング可能となっています。

さらに、出荷後も、「配車支援システム」や「運行管理システム」によって得意先への納入までの様々な情報を一元的に管理しています。これらは、商品の品質の維持向上に極めて有益となっております。

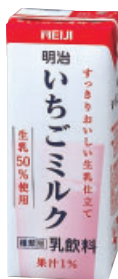
MESと冷蔵庫システムを連携してのロットトレース

MESと冷蔵庫システムにより、製造工場と出荷工場が異なる場合でも、原材料から出荷までのロットトレースが行えます。



新製品のご紹介

市乳



明治いちごミルク

「明治いちごミルク」は牛乳の新しい飲み方を提案する商品として9月中旬に発売し、好調な販売を続けております。
生乳を50%使用し、フレッシュ感のあるいちご果汁を加えており、すっきりとした甘さを楽しめます。



「明治ミルクと珈琲」 ブランドシリーズ

「明治ミルクと珈琲」ブランドシリーズは、ミルク好きの方に高い評価を頂き、現在順調な販売を続けております。
「やわらかラテ」「やわらか紅茶」は、商品コンセプトであるミルクの価値を最大限引き出すべく、生乳を50%使用するリニューアルを実施いたしました。



明治ブルガリアヨーグルトクリーミーリッチ ストロベリー／白桃

「明治ブルガリアヨーグルトクリーミーリッチ」は、「明治ブルガリアヨーグルト」のおいしさをベースに、当社独自の製法（※なめらかスムーズ製法）によって乳本来のクリーミーな風味となめらかな食感を実現しました。
また、果肉は最適な品種の選定と熟度管理により、しっかりした食感と自然の風味を同時に味わうことができます。ヨーグルト本来のやさしい口どけと、果肉のおいしさを兼ね備えた豊かな味わいなので、本物志向の方にも十分満足していただけるヨーグルトです。今回、クリーミーなヨーグルトベースと相性の良い、ストロベリーと白桃の2種類を発売いたしました。

※なめらかスムーズ製法

マイクロフィルターに通す（細かく裏ごしする）ことでヨーグルトベースを、よりなめらかにする明治乳業独自の製法（特許出願中）

アイスクリーム



明治エッセルスーパーカップ 巨峰

明治エッセルならではのコクのあるアイスに甘酸っぱさと豊かな香りが特徴の巨峰果汁を混ぜ込んでいます。濃厚な味わいを最後まで最後まで楽しめます。



Aya Sweets Dessert クレームブリュレ

人気の洋菓子スイーツをテーマとした商品です。
カスタードアイスにほろ苦いカラメルソースをマーブル状に混ぜ合わせて濃厚な味わいに仕上げています。



Aya Sweets Dessert 渋皮栗モンブラン

人気の洋菓子スイーツをテーマとした商品です。
マロンアイスクリームにほっくりした食感と風味の渋皮栗を細かくカットしてミックスインしています。渋皮栗は皮ごと甘露煮にしているため、香り豊かで味の強いおいしさに仕上がっています。

バター
チーズ
マーガリン



明治ちょこっとソフト
あっさり風味・バター風味・はちみつ風味

「もっと小容量のマーガリンが欲しい」というお客様のニーズを形にしました。少人数世帯にちょうどいい80gサイズでバラエティ豊かに3つの風味を揃えました。短期間で使い切れ、いつでも新鮮な風味を味わうことができ、冷蔵庫でも場所をとりません。



明治クリームフロマーージュ
ハーブ&ガーリック

濃厚なミルクのkokが感じられるクリームチーズに、ガーリックと3種のハーブをミックスした、旨みと香りのポーションクリームチーズの登場です。そのままおつまみにも、また、朝食のパンや料理に使ってもおいしく頂けます。



明治
生チョコソフト

カカオ原料と北海道産生クリームから作られた生チョコレートを配合し、濃厚な風味に仕上げたチョコレートスプレッドです。柔らかいのでパンに塗りやすく、お菓子づくりに使用することもできます。

冷凍食品



カップグラタン
(海老ベンネグラタン&茄子ミートグラタン)

「毎日のお弁当メニュー、飽きずに短期間で使い切りしたい」というニーズにお応えして、人気のグラタンを2種類アソートしたカップグラタンです。お弁当に2つのおいしさとし彩りをお届けいたします。



野菜とチーズのオープン焼き

大きめにカットした野菜（北海道十勝産じゃがいもと国産のかぼちゃ・さつまいも・ブロッコリー）を使用したグリルメニューです。北海道産生乳をベースにした、コクのあるクリーミーなホワイトソース仕立て。



妊産婦・
授乳婦用
食品

明治ビオマ
プレマ葉酸タブレット

妊娠中に特に大切な「葉酸」を、おいしく毎日手軽に続けることができる葉酸サプリメントです。タブレットタイプでそのまま噛んで食べられます。程良い酸味と後味すっきりヨーグルト味。2粒で妊娠に必要な1日の摂取推奨量分の葉酸を摂ることができます。



ベビー
スキンケア

すべすべみるる
ベビー全身シャンプー（香りつき）詰替用

天然精油（ゼラニウム油・ローマカミツレ油）の保湿成分を配合。無香料でありながら、洗い上がりもさわやかな天然ハーブがほんのり香り、赤ちゃんとお母様にやさしさをもたらす「ベビー全身シャンプー（香りつき）」に詰替用が新登場です。

会社概要

(平成18年9月30日現在)

社名 明治乳業株式会社
英文社名 Meiji Dairies Corporation
設立 大正6年12月
資本金 336億4千6百万円
本社所在地 東京都江東区新砂一丁目2番10号
従業員数 4,460名

役員

(平成18年9月30日現在)

代表取締役 取締役会長	中山 悠	取締役	馬場 良雄
代表取締役 取締役社長	浅野 茂太郎	取締役	加藤 直樹
専務取締役	鶴丸 健彦	取締役	川島 浩一郎
専務取締役	田中 要	取締役	山本 潤児
専務取締役	永田 毅	取締役	江黒 雅美
常務取締役	齋藤 繁男	取締役	野中 謙一
常務取締役	桑田 有	取締役	金子 秀定
常務取締役	吉岡 幸一	取締役	吉田 俊明
常務取締役	井原 昇一	取締役	小出 薫
常務取締役	塚西 廣美	取締役	縄田 照三
取締役	林 哲夫	常勤監査役	吉岡 肇
取締役	松澤 正	常勤監査役	星野 修邦
取締役	峯元 和博	監査役	赤羽 正治
取締役	重成 範男	監査役	藤井 吉昭

連結対象会社

(平成18年9月30日現在)

●連結対象 子会社および関連会社

□食品事業 19社

日本罐詰株式会社
明治油脂株式会社
北海道明販株式会社
東北明販株式会社
東京明販株式会社
東京明治フーズ株式会社
中部明販株式会社
金沢明販株式会社
近畿明販株式会社
中国明販株式会社
九州明乳販売株式会社
株式会社アサヒプロイラー
明治ケンコーハム株式会社
大阪保証牛乳株式会社
四国明治乳業株式会社
東海明治株式会社
千葉明治牛乳株式会社
沖縄明治乳業株式会社
パンピー食品株式会社

□サービス・その他事業 8社

明治飼糧株式会社
フレッシュネットワークシステムズ株式会社
東京牛乳運輸株式会社
株式会社カントラ
株式会社ケー・シー・エス
大蔵製菓株式会社
株式会社明治テクノサービス
株式会社ナイスデイ

株式の状況 (平成18年9月30日現在)

●株式数

発行可能株式総数 560,000,000株
発行済株式の総数 329,648,786株
(前期末比33,000,000株増加)

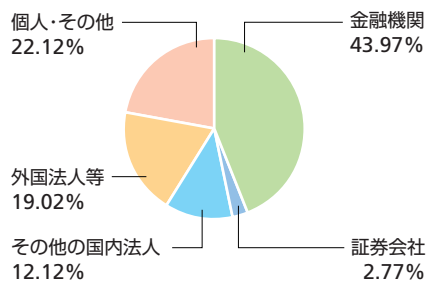
●株主数

株主数 33,738名
(前期末比508名減)

●大株主 (上位10名)

株主名	当社への出資状況 持株数 (出資比率)		当社の大株主への出資状況 持株数 (出資比率)	
	千株	%	千株	%
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社信託口	21,510	6.53	—	—
日本マスタートラスト 信託銀行株式会社信託口	20,880	6.33	—	—
株式会社みずほ銀行	14,581	4.42	—	—
明治製菓株式会社	11,960	3.63	9,003	2.34
株式会社りそな銀行	11,000	3.34	—	—
日本生命保険相互会社	10,013	3.04	—	—
農林中央金庫	8,085	2.45	—	—
住友信託銀行株式会社	6,985	2.12	1,871	0.11
明治乳業共栄会	5,520	1.67	—	—
明治乳業従業員持株会	4,887	1.48	—	—

●株式分布状況



株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月

同総会権利行使
株主確定日 毎年3月31日

期末配当金受領
株主確定日 毎年3月31日

中間配当金受領
株主確定日 毎年9月30日

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社

同事務取扱場所 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

連絡先 〒171-8508

東京都豊島区西池袋一丁目7番7号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
☎0120-707-696 (フリーダイヤル)

同取次所 三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店

公告の方法 東京都において発行する
日本経済新聞への掲載

お知らせ

住所変更、配当金振込指定・変更、単元未満株式買取・買増請求
に必要な各用紙、および株式の相続手続依頼書のご請求は、

株主名簿管理人のフリーダイヤル

☎0120-86-4490

で24時間承っておりますので、ご利用ください。



地球環境に配慮した大豆油
インキを使用しています



古紙パルプ配合率100%再生紙を使用

この報告書は環境への配慮のため、古紙パルプ配合率100%再生紙と大豆油インキを使用しています。

健康って、おいしい。

MEIJI
明治乳業



とろ〜りまろやか、クセのないおいしさ。

明治
北海道 **十勝カマンベル**

ますます大好評のカマンベルは、
北海道・十勝生まれです。
大自然の恵みたっぷりの
「明治北海道十勝カマンベルチーズ」。
国産素材にこだわり、
北海道の新鮮な生乳をいかして、
まろやかなコクと
すっきりしたあと味に
仕上げました。
日本人の味覚にあった
クセのないおいしさです。



自然のちからを、未来のチカラへ。